

報告とお礼

12.5 「老朽原発このまま廃炉！大集会 in おおさか」に 1600 人

関電が6月に再稼働させた危険極まりない老朽原発・美浜3号機は、特重施設の設置が期限に間に合わなかったため、僅か4ヶ月の運転で、10月23日、停止に追い込まれました。老朽原発・高浜1、2号機も、特重施設が完成せず、今でも停止したままです。美浜3号機、高浜1、2号機の特重施設の完成は、早くても2022年9月、2023年5、6月といわれています。ただし、これらの老朽原発は、特重施設の完成後に再稼働されたとしても、2023年末には停止に追い込まれる可能性が大きい。それは、関電は「使用済み核燃料の県外中間貯蔵地を2023年末までに探せなければ、老朽原発を停止する」と明言していますが、中間貯蔵候補地探しは至難であるからです。老朽原発停止を突破口に原発全廃に向かって大きく前進するチャンスです。

そう考えた「老朽原発うごかすな！実行委員会」は、**老朽原発廃炉に向けて「やれることは全てやる」**ことを決定し、現在までに以下を実行しました。

【1】「老朽原発このまま廃炉キャンペーン期間」(10月23日～12月4日)を設定しましたが、賛同して実施された行動は全国で72に上りました(期間に先立つ行動を含む)。「ヒトリデモ」「集会」「デモ行進」「スタンディングアピール」「チラシ配布とアメーバデモ」など、多種多様な行動でした(裏面参照)。以下は、代表的な行動です。

●10.25「美浜3号もう動かすな！現地行動」；美浜3号機が停止した直後の10月25日、関西・福井・中部などから63名が美浜原発対岸の公園に結集し、集会、原発ゲート前を往復するデモで関電を糾弾しました。後、関電原子力事業本部(美浜町)前に移動し、怒りのアピールと、申入れの後、町内デモで「美浜3号もう動かすな！」を訴えました。大雨、寒風にも拘わらず、熱い行動でした。

●11.17「MOX燃料搬入抗議行動」；運搬船到着地・高浜原発の対岸・荷上場に、早朝より、関西、福井の30名が結集し、12メートルの横断幕2枚を掲げて、2時間にわたって「プルサーマル運転反対！」「MOX燃料の搬入を許さないぞ！」などの怒りの声を上げた後、原発までデモ行進し、北ゲート前で抗議行動を展開しました。

●11.23(高浜原発前出発)-11.27(美浜町到着)「老朽原発このまま廃炉！リレーデモ」；延べ130名が参加しました(出発日には、名古屋、岐阜、関西一円、福井から、約60名が参加)。天候が急変し、雨、霰、みぞれ、強風が襲う荒天にもめげず、5日間を歩きました。今回のリレーデモでは、若狭の住民からのご声援が格段に多くなっていることを実感し、参加者一同、感激することしきりでした。

【2】「12.5 老朽原発このまま廃炉！大集会 in おおさか」に全国から1600名が結集し、昨年の9.6(1600人結集)、本年の6.6(1300人結集)「老朽原発うごかすな！大集会 in おおさか」に引き続く大集会となりました。集会後は、圧巻の御堂筋デモ行進を行いました。コロナ禍で、市民団体や労働団体の組織参加は自粛されたものの、脱原発を目指す市民団体、労働団体、政党の多くの代表が参加されました。

12月5日のうつぼ公園(大阪市西区)では、赤く染められた「老朽原発うごかすな！」の大横断幕が参加者を待っていました。一時間前から始まった川口真由美さん等のミニライブで盛り上がった後、中島哲演さんの主催者あいさつで集会が開始されました。中島さんは、「目に見え、耳に聞こえる運動で世論を作ろう」と訴え、さらに大きな運動の構築を目指す次回実行委員会(12月14日)への結集を呼びかけました。井戸謙一弁護士は、大阪地裁に申し立てた「美浜3号機運転差し止め仮処分」の経緯と現状を報告しました。また、「裁判官も一人の人間。老朽原発の稼働は誤りと思わせるように、大衆運動の力で背中を押そう」と呼びかけられました。名古屋地裁の老朽原発廃炉訴訟、老朽原発の地元(若狭町、小浜市、東海)からの発言が続き、全員でのポスター掲示行動の後、原発賠償関西訴訟原告の発言、全国から駆け付けた闘うみなさん(青森、福島、首都圏、石川、四国)20数名および参加政党の代表の紹介、関西の市民団体からからのアピール、「キャンペーン期間」の行動報告、労働団体からのあいさつと続き、最後に、「原発のない、人の命と尊厳が大切にされる社会を実現しよう！」という集会アピールが提案され、拍手で採択されました。集会後の御堂筋デモは、にぎやかに貫徹され、道行く人から熱い応援を得ました。

集会には、全国で脱原発、核施設建設反対を闘う立地の団体、住民からのメッセージが寄せられ、冊子として配布されました。また、集会に先立つライブ、集会、デモの様子は、IWJにより全国に中継されました。

**ご参加、ご支援くださいました皆さん、
ありがとうございました。**

**老朽原発をこのまま廃炉に追い込み、
原発全廃の突破口にしよう！**

来る年には、さらなる大行動を！

2021年12月8日

老朽原発うごかすな！実行委員会
連絡先・木原(090-1965-7102)

老朽原発このまま廃炉 大阪で集会

「老朽原発このまま廃炉！大集会 in おおさか」が5日、大阪市西区の、朝(うつぼ)公園で開かれました。主催は実行委員会。約1600人が参加し、集会後、デモ行進し市にアピールしました。集会では、原子力発電に反対する福井県民会議の中島哲演(なかしま・てつえん)氏が主催者あいさつ。「原発を動かさない運動をつくりだしていこう」と参加者に呼びかけました。

実行委員会の木原壮林(そりん)氏が集会アピールを提案。木原氏が「原発は使用済み核燃料の蓄積、重大事故の多さ、耐震性の低さ、発電コストの高さ、電力会社の企業倫理のいずれの面からも稼働を容認できません」「老朽原発を廃止に追い込み、人の命と尊厳が大切にされる社会を実現しましょう」と訴えると、参加者から「そうだ」との声が上がりました。

集会には、野党各党関係者も参加。日本共産党からは、たつみこたロー(辰巳孝太郎)前参院議員・大阪選挙区候補が参加し、紹介されました。

デモ行進し市にアピールする参加者ら15日、大阪市西区

2021年12月6日しんぶん赤旗



***老朽原発このまま廃炉！大集会 in おおさか / IWJ・エリア Ch6/ アクセス**

前段ライブ https://twitcasting.tv/iwj_areach6/movie/712228319

集会 https://twitcasting.tv/iwj_areach6/movie/712232625

デモ https://twitcasting.tv/iwj_areach6/movie/712241729

「老朽原発このまま廃炉！キャンペーン」期間中に 取り組まれた行動（全72）

（12月5日までに実行委員会が把握している行動）

注；以下、①ヒトリデモ、ひとりウォークとは；一人ひとりが十分な間隔（例えば20m）をとって、拡声器、ポスター、旗、のぼりを持って「原発反対」を訴えながら歩く行動。②アメーバデモとは；小集団に分かれて地域の隅から隅まで、徒歩あるいは街宣車で「原発反対」を訴えながら廻り、チラシを各戸配布する行動。①、②ともに「集団示威行動」にはならず、警察への届け出は不要で、いつでもどこでも実行できます。

<大阪（ヒトリデモ6回、スタンディング・チラシ配布2回、団体廻り1回）> 8月20日：枚方ヒトリデモ、第1回御堂筋ひとりウォーク、10月26日：「原子力の日」反原発関電本店前行動、10月8日：高槻ヒトリデモ、11月2日：第2回御堂筋ひとりウォーク、11月7日：釜ヶ崎ヒトリデモ、11月9日：政党、労組、団体廻り9か所、11月11日：高槻駅歩道橋スタンディングとチラシ配布、12月1日：第3回御堂筋ひとりウォーク

<兵庫（団体廻り1回、集会でアピール1回）> 11月8日：政党、議員、労組、団体廻り9か所、11月8日：樋口英明さん講演会でアピール

<奈良（集会アピール・デモ4回、スタンディングアピール13回）> 8月～11月の6日：ロックアクションでアピールとゼッケンデモ、8月～11月の9日と19日：近鉄生駒駅前スタンディングアピール、8月28日、9月25日、11月13日：JR王寺駅前スタンディングアピール、9月18、28日：メガソーラ反対行動

<京都（ヒトリデモ8回、集会チラシ配布数回、アメーバ各戸チラシ配布1回、申入れ行動1回、団体廻り1回）> 8月31日：鴨川ヒトリデモ、9月3、10日：三条から関電ヒトリデモ、9月19日、10月1日：市役所から関電ヒトリデモ、11月3日：憲法集会でチラシ配布、10月2日、11月6日、12月4日：八幡ヒトリデモ、10月29日：洛北街宣とアメーバ各戸チラシ配布、11月11日：関電京都支社へ申入れ行動、11月16日：政党、労組、団体廻り5か所

<滋賀（ヒトリデモ3回、デモ7回、講演会2回、団体廻り1回）> 8月28日、9月11日、10月23日、11月13日、12月4日：脱原発市民ウォーク in しが、10月30日、11月27日：脱原発市民ウォーク in 近江八幡、8月28日、9月11日：びわ湖ヒトリデモ、10月6日：高島ヒトリデモとチラシ各戸配布、10月9日：「美浜3号機差止仮処分申し立ての意義」井戸謙一弁護士講演会、11月3日：憲法集会でチラシ折込み、11月13日：「老朽原発このまま廃炉」井戸弁護士講演会、11月16日：政党、労組廻り4か所

<福井（アメーバ各戸チラシ配布4回、アンケート結果配布1回、緊急行動とデモ2回、リレーデモ5日間）> 8月8日：美浜町住民へのアンケート結果の配布、10月13日：美浜町アメーバ各戸チラシ配布（美浜）、10月25日：「美浜3号もう動かすな！現地行動」抗議集会とデモ（63人）、11月10日：アメーバ各戸チラシ配布（高浜）、11月17日：アメーバ各戸チラシ配布（高浜）、11月17日：MOX燃料搬入抗議行動とデモ（30人）、11月23日～27日：老朽原発このまま廃炉高浜から美浜リレーデモ・アメーバ各戸チラシ配布も（のべ130人）

<名古屋> 10月23日：「老朽原発40年廃炉訴訟市民の会」による美浜原発このまま廃炉スタンディングアクション

<岐阜> 12月11日（予定）：さよなら原発パレード in ぎふ（12.5集会に連帯して）

<郡山> 11月6日：「原発いらない福島の人たち」「チェルノブイリ法日本版の会」による連帯アピール行動

<岩国> 11月22日：岩国基地反対集会で、全員でプラカードを掲げるアピール行動

12.5 集会にメッセージを寄せられた団体、個人

北海道 後志（しりべし）原発とエネルギーを考える会、核の中間貯蔵はいらない！下北の会、なくそう原発・核燃、あおりネットワーク、原発いらない福島の女たち、放射能ゴミ焼却を考えるふくしま連絡会、みやぎ脱原発・風の会、東海村議会議員、柏崎刈羽原発絶対反対地元住民有志、さよなら原発・ぎふ、浜岡原発を考える静岡ネットワーク、敦賀市議会議員、美浜町議会議員、おおい町住民、高浜町住民、さよなら島根原発ネットワーク、上関原発を建てさせない山口県民連絡会、伊方から原発をなくす会、玄海原発プルサーマルと全原発をみんなで止める裁判の会、ストップ川内原発！3.11 鹿児島実行委員会

12.5 大集会で採択された集会アピール 原発のない、人の命と尊厳が 大切にされる社会を実現しよう！

福島原発事故は、原発が一端重大事故を起こせば、人々の生活を根底から奪い去ることを、大きな犠牲の上に教えました。それでも、関電と政府は、運転開始後45年を超える、危険極まりない老朽原発・高浜1、2号機、美浜3号機の運転を画策しています。

私たちは、以下の理由により、老朽原発廃炉、原発全廃を訴えます。

- ① 原発を動かせば、何万年もの保管を要する負の遺産・使用済み核燃料を生み出しますが、その処理・処分法はなく、中間貯蔵すら引き受ける場所がありません。
- ② 政府や自治体は、私企業である電力会社が運転する原発の重大事故を想定した避難訓練を、血税を使って行っていますが、それは、原発は重大事故を起こしかねないことを政府や自治体が認めているからです。ただし、その「避難訓練」も、僅かの人数による僅かの期間だけの訓練で、「避難訓練を行った」とするアリバイ作りに過ぎません。原発過酷事故時の避難は、訓練ができないほど深刻で困難なのです。
- ③ 関電の原発に関して、各種のトラブルが頻繁に発生、発覚しています。

最近では、1 昨年10月および昨年11月に高浜4号機で、昨年2月に高浜3号機で蒸気発生器伝熱管の損傷・減肉が発覚しました。去る6月に再稼働した老朽原発・美浜3号機でも、7月2日に、緊急時に蒸気発生器に給水する補助給水ポンプのフィルターに鉄さびが詰まるトラブル、10月6日には、非常用ディーゼル発電機が緊急停止するトラブルが発生しています。7月に再稼働した大飯3号機でも、8月4日、復水器に海水を送る配管が腐食し、直径4cmの穴が開いていました。

このような数々の配管トラブルは、若狭の原発の配管は相当危険な状況にあることを示します。老朽原発の運転など、もってのほかです。

- ④ 若狭の原発の耐震性は疑問です。例えば、活断層の巣の中にある美浜3号機の耐震性の評価にあたって、震源が近くにあることの配慮はなく、地盤変位に対する考察もありません。また、地震が繰り返された場合の考慮が不十分です。さらに、美浜3号機の基準地震動の評価は、405ガルから993ガルへと増大していますが、それに見合って原発の耐震性が強化されているとは言えません。
- ⑤ 原発電力のコストは上限を試算できないほど高額です。去る7月に試算された2030年の1キロワット時あたりの発電コストは、原発では「11円台後半以上」で、太陽光や陸上風力などに比べて、原発の優位性は否定されています。なお、原発コストの試算額には上限がありません。「事故処理費用が見込みづらい」ためです。使用済み核燃料や放射性廃棄物の処理・保管費を含めれば、原発の発電コストは膨大になります。
- ⑥ 関電は、老朽原発の再稼働を巡って、立地自治体に同意を要請し、苦悩の選択を迫りましたが、福井県知事が同意を表明した直後に、高浜1、2号機の再稼働断念を発表しました。このように、関電は、自社の都合のみで、人々を混乱に陥れています。このことと、一昨年来の原発マネー不祥事、使用済み核燃料中間貯蔵地探しに関わる再三の約束違反を考えあわせると、関電は、企業倫理に欠け、何の成算もなく約束し、それを平気で反古にする企業と言わざるを得ません。

以上のように、原発は、使用済み核燃料の蓄積、重大事故時の避難の困難さ、トラブルの多さ、耐震性の低さ、発電コストの高さ、電力会社の企業倫理の低さ、いずれの面からみても、稼働を容認できる装置ではありません。原発は万が一にも重大事故を起こしてはならない装置です。

老朽原発を廃止に追い込み、それを突破口に、原発のない、人の命と尊厳が大切にされる社会を実現しましょう！

2021年12月5日

「老朽原発このまま廃炉！大集会 in おおさか」参加者一同